

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第24号 平成20年11月17日

チャンスに打てず今期最終公式戦敗退・・・

与四死球の多さは、急性腸炎だった？



11月16日相模原球場に出向き、5回目の交渉でやっと対戦出来た銭湯'zとKSCプレー初1回戦を行った。この日の天候もはっきりせず、開始前まで、やきもきする天候であった。グラウンドに入ると行き届いた整備に思わず、気持ちも高揚した。今日の先発は牧野、我がチームは後攻でゲームは始まった。先頭打者を綺麗にセンター前に運ばれ、早くもランナーを出す展開であったが、初回は力みの見えないピッチングで、アウトは全て三振と素晴らしいピッチングで幕を開けた。ところが、自身曰く「2回は魔の2回ですから・・・」の言葉を発していたが、まさにその言葉とおりの内容になった。打者8人に対して、4個の四死球、且つ2ストライクを先取しながら、献上した四球が2つも含まれており、ノーヒットで2点を献上した。しかし、その中でも、満塁の中のショートゴロを深沢が、慌てず、ホームで刺せた事は、大量失点に繋がらずに済んだ要因である。それ以外のアウトはこれまた、2三振と、終わって見れば、三振奪取と与四死球の数が同数と何とも微妙なピッチングで終わった。ゲーム終了後、「四死球の多さが今日のゲームをきめましたね」の言葉とおり、与えたヒットは僅か3本ただただに、充分な素質を持つ彼だけに、今後のピッチングに期待したい。自宅に戻った後、腸に違和感があったため、医者に行ったところ、急性腸炎と診断され、点滴を受けて帰宅そうです。本人は、豆黒茶にあたった？と行っているが、大きな体の〇〇の心臓の影響で、腸が炎症を起こしたのでは無いか？と筆者は思う。何故なら、彼は2号だから・・・打線においては、再三得点チャンスがあったが、これまた今期の我がチームの打線を象徴するかのよう、残塁4を記録し、得点は2点止まり。見せ場も有っただけに、勝負時は叩きつけるバッティングを意識しよう！

転がせば何かが起きる。足が勝つ？本日で公式戦は全て終了しました。残りの最大数は4つ、その4つを自身の成績アップのために、一生懸命頑張ろう！